

ご議論頂きたい事項

【ODA を取り巻く環境】

- 開発協力大綱にも明記されているとおり、国際社会が複合的危機に晒されている中で、危機の克服のための開発協力の役割は一層重要。他方、危機の克服のために必要な開発資金は膨大。
- 開発途上国への資金流入は、既に民間資金が ODA を大きく凌ぐ。中でも、環境、社会、ガバナンス課題の解決を目的とした「サステナブルファイナンス」の世界的な投資規模は、2025 年までに、53 兆ドル（全投資金額の約 3 分の 1）を超える見込み。
- 上記のような「開発のための新しい資金」は、国際社会の複合的危機に対処する鍵となり得る。
- 官民を問わず様々な主体との連携を強化する観点から、現行の ODA のあり方を前例にとらわれず見直していく必要がある。

【本会議を通じてご議論頂きたい事項】

- サステナブルファイナンスをはじめとする「開発のための新しい資金」の触媒として活用するため、ODA を活用したどのような手段があり得るか。
- 民間資金を開発のために一層動員するため、民間が途上国で直面するリスクを、ODA を活用して緩和することが可能ではないか。
- 寄付やフィランソロピーの資金を、我が国 ODA で活用するに当たり、留意すべき事項は何か。

【第 1 回会合にて特にご議論頂きたい事項】

- 我が国開発協力の資金動員における課題、および解決のため考慮すべき点
- 開発のためにサステナブルファイナンスを活用する可能性